

食糧支援 ニュースレター



2008.7.28

Vol.25

TOPICS

- 食糧価格高騰 「静かな津波」に立ち向かう
- ミャンマー 支援進むも資金不足
- 知花くらさん ザンビアでWFPの活動を視察
- WFP学校給食支援・新公共広告キャンペーン開始
「一杯の給食で、いっぱい希望。」
- 私たちのWFP支援 株式会社ファミリーマート
- アフリカの飢餓撲滅のための「ウォーク・ザ・ワールド
FOR アフリカ〜地球のハラベコを救え。〜」実施報告
- 第5回WFP生徒作文コンクール開催

食糧価格高騰 「静かな津波」に立ち向かう

前号でもお伝えした通り、世界的な食糧価格高騰が途上国の人々の暮らしを直撃しています。世界では以前より8億5千万人が飢餓に苦しんでいましたが、今回の食糧価格高騰により、さらにその数は1億人以上増えたと見られています。

食糧支援を必要とする人が増える一方で、食糧調達コストが急上昇したためWFPの食糧支援活動には大きな支障が生じました。今まで、緊急支援を必要とするような食糧危機は、紛争や自然災害による局地的なものが多かったのですが、今回の食糧危機は全世界を同時に襲うという未曾有の事態でした。中米のハイチでは、人々は泥が混じったクッキーを食べ、カンボジアでは資金不足からWFPが行っていた学校給食の配給が打ち切りとなりました。シーランWFP事務局長はこの危機を「静かな津波」に例え、WFP設立45年来の最大の危機と表明しました。

WFPは食糧価格高騰によって生じたコストアップ分に対応するため、各国に7億5千5百万米ドルの追加支援を要請していましたが、幸い、国際社会で問題意識が急速に高まり、この目標は5月末に無事達成することができました。これを受け、WFPは6月、食糧価格高騰の打撃を受けている62カ国に12億米ドルの追加食糧支援を実施することを発表しました。カンボジアでは学校給食の再開が決定され、ハイチでも支援対象人数を3倍に増やしての緊急支援が始まりました。また、潘基文事務総長の呼びかけにより、国連諸機関からなる「食糧危機作業部会」が設置されたり、第4回アフリカ開発会議（TICAD IV）や、ローマで開催された「食の安全保障、気候変動、バイオエネルギーに関するハイレベル会合」（通称「食糧サミット」）、北海道洞爺湖サミットでも食糧問題が重要議題として取り上げられたりするなど、問題解決に向けて国際協調の機運が生まれています。



©WFP/Ebadullah Ebadi

アフガニスタンでは主食の小麦が急騰

一方で、WFPが2008年に食糧支援を計画通り行うために必要な50億米ドルのうち、7月初めの時点ではおよそ20億米ドルしか集まっていません。さらに、食糧価格高騰により支援を必要としている人々が増えていることから、支援対象人数や、支援に必要な金額がさらに膨れ上がることも考えられます。人々の命を守るには、さらなる支援が必要です。

また、学校給食など、特に弱い人々の生活を守る社会的セーフティネットの整備も重要です。食糧危機に伴い、子どもを退学させる親が増えていますが、将来、子どもが自立して生活していけるようにするためには教育を受けることが必須です。いったん飢餓や貧困に陥ってしまうと、そこからなかなか抜け出すことはできません。将来の飢餓人口を増やさないためにも、学校給食の拡充が必要とされています。

さらに、多くの国では、国内の需要を確保するため食糧の輸出禁止・制限等の規制が行われていますが、これは価格高騰の一因となっていると指摘されています。また、WFPが食糧支援に用いるために購入した食糧がこの規制のために輸出できず、予定していた食糧配給ができなくなったり遅れたりするという事例が増えています。WFPは、人道支援用の食糧に関しては輸出規制の対象外とするよう、国際社会に求めています。



©WFP/ Mikael Bjerrum

カンボジアでは学校給食が一時停止

ミャンマー 支援進むも資金不足

WFP は、5 月 2 日から 3 日にかけてミャンマーを襲ったサイクロンにより被害が出た直後から、ヤンゴン周辺とイラワジ川のデルタ地帯を中心に食糧支援を続け、これまでに、デルタ地帯では 68 万 4 千人に食糧支援を行いました。また、WFP は国連諸機関や NGO 間の調整等を行い、支援物資輸送のリードをとっています。船、トラック、ヘリコプターを用い、食糧支援に使う高カロリービスケットと米はもちろんのこと、水の浄化装置やテント、衛生器具など他機関の支援物資も被災地へと運びました。特にヘリコプターの使用により、今まで支援が行き渡らなかった被災地にも物資を届けられるようになってきています。



©WFP

しかし、WFP の緊急食糧支援は資金不足に直面しています。75 万人に対する支援に必要な 7 千万ドルのうち、55%が不足しており、現在の資金では米を 1 ヶ月配給することしかできません。また、物資輸送に必要な資金も不足しており、必要とされる 5 千万ドルのうち、約 40%が足りていません。

この厳しい現状をご理解いただき、引き続き皆様の温かいご支援をいただけますよう、よろしくお願いいたします。

いますぐできるオンラインご寄付はここから：www.wfp.or.jp

また、「FreeRice」という英単語クイズのウェブサイトを通じてご支援いただくこともできます。このサイトでは、英単語クイズに一回正解ごとに米 20 粒が WFP に寄付されます。英単語の勉強と支援が同時にできるということから世界中で人気を博し、これまでに 375 万食に相当する 360 億粒が寄付されました。このサイトで集まった米は、ミャンマーでも配給される予定です。皆様もどうぞお試しください。

知花くららさん ザンビアで WFP の活動を視察

WFP のオフィシャルサポーター、知花くららさん（2006 ミスユニバースジャパン、ミスユニバース世界大会第 2 位）が、WFP の活動を視察するため、4 月、南部アフリカの国ザンビアを訪問しました。



©WFP/Rein Skallerud

知花さんはザンビア南部のシアボンガを訪れ、小学校で学校給食の様子を見学しました。ザンビアの HIV 感染率は 17 パーセントと高く、子どもたちの多くは親をエイズで亡くし、祖父母に引き取られています。また、この地域では去年末から今年初めにかけて未だかつてないほどの大雨が降り、洪水が発生しました。気候変動による異常気象ではないかと見られています。また、その後には干ばつに襲われ、農作物は壊滅的な被害を受けていました。エイズや貧困、洪水、干ばつで飢えが地域を襲う中、学校には WFP が提供する一杯のおかゆを目当てに大勢の子どもが集まっています。これは大豆ととうもろこしの粉をお湯に溶いたオートミールのようなもので、一杯 600 カロリー。ビタミンやミネラルも豊富です。知花さんは、子どもたちがうれしそうにおかゆを味わっているのを見て、給食が子どもたちの命を支え、学校への呼び水となっていることを実感したと言います。

この地域では、乳幼児や妊婦、授乳中の母親を対象にした移動診療所も見学しました。一見、栄養状態が悪く見えない子どもでも、記録を見せてもらえると、一年間体重が全く増えていなかったり、2 歳ぐらいに見える子どもが実際は 4 歳だったりするケースがありました。特に栄養状態の悪い子どもや母親には WFP の食糧が配られます。

知花さんはまた、ルアンギア国立公園周辺にも行き、WFP が現地の NGO と共同で行っている有機農法プロジェクトを視察しました。この地方では、多くの人々が違法な炭焼きや野生動物の密猟などで生計を立て

ています。そこで、現地の NGO は彼らに生産性の高い有機農法の技術を教え、生計を立てられるようにすると同時に環境を保護するというプロジェクトを行っています。WFP は農業技術研修に参加する元密猟者らに、見返りとして穀物や豆、植物油、塩などの食糧を配給しています。参加者のリチャードさんは、5 人の子を持つ父親。森林伐採は山を荒らすと知っていましたが、生活のために仕方なく違法な炭焼きをしていました。が、WFP の食糧支援を受けながら農業研修に参加してからは、米栽培や養蜂で生計を立てられるようになり、得た収入で子どもたちに寝具と服、学校の制服を買い、子どもを学校に行かせることができるようになりました。知花さんは、「誇らしげなお父さんの顔がとても印象的でした」と語っています。

10 月には知花さんの視察旅行を題材にしたパネル展の開催を予定しています。お楽しみに！



©WFP/Rein Skallerud



©WFP/Rein Skallerud

WFP 学校給食支援・新公共広告キャンペーン開始 「一杯の給食で、いっぱい希望。」

WFP が途上国で行っている学校給食を支援する公共広告が公共広告機構の 2008 年度支援キャンペーンのテーマとして選ばれ、7 月 1 日より、テレビ、ラジオ、新聞、雑誌、そして交通広告を通じて全国展開されることになりました。



© 公共広告機構

広告作品は、WFP が全世界で行っている「一杯の給食キャンペーン」をモチーフとしています。このキャンペーンは、開発途上国の児童 5900 万人もが空腹の状態です。

同時に、学校給食を提供するための資金を集めるという目的を担っています。広告作品の中にも登場する赤いプラスチックのカップはキャンペーンのシンボルで、飢餓に苦しむ子どもたちに対して、一杯の給食がどれほど大きな違いをもたらすことができるかを示しています。

玉村美保子 WFP 日本事務所代表は、「現在、食糧価格高騰により世界の多くの子どもたちが打撃を受け、お腹をすかせています。学校給食はこのよう子どもたちにとってセーフティネットの役割を果たしており、その重要性は増す一方です。この広告キャンペーンによって、日本の皆様からより一層のご支援をいただければ大変有難く存じます。」と述べています。

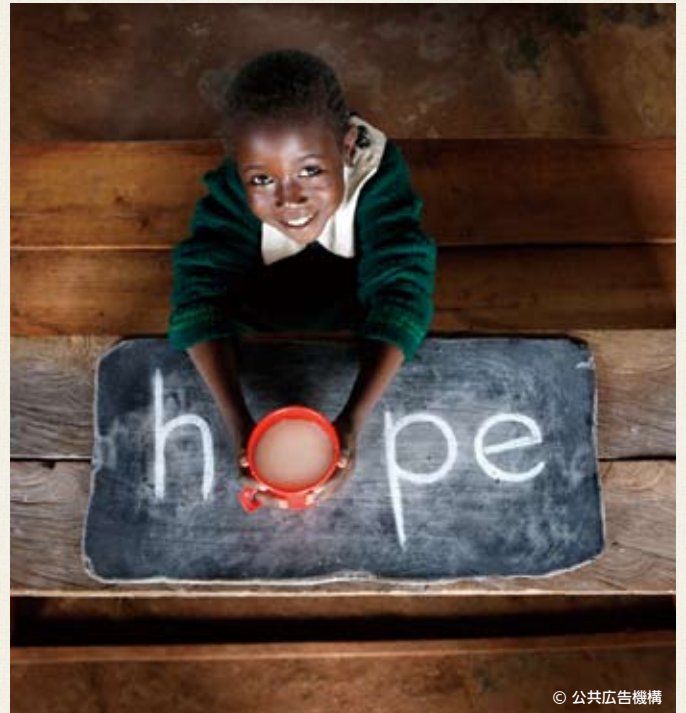
広告作品の撮影は、ナイロビ（ケニア）のキベララムにあるスタラ小学校で行われました。WFP が学



© 公共広告機構

校で提供している栄養たっぷりのおかゆの給食があるからこそ、子どもたちは学校に通い、授業に集中することができるという様子が描かれています。広告では、「一杯の給食で、いっぱい希望」というキャッチフレーズのもと、黒板に書かれた「h」と「pe」という文字の間に赤いプラスチックのカップが置かれ、「hope」という文字が完成します。

広告の企画・制作は電通 名鉄コミュニケーションズが、テレビ・ラジオ CM のナレーションは、俳優、豊川悦司さんが担当して下さいました。



© 公共広告機構

私たちの WFP 支援 ファミリーマート

ファミリーマートでは、全社的にさまざまな取り組みを行い WFP を支援して下さいます。

同社は 2006 年 4 月に、「夢の掛け橋募金」を立ち上げました。これは日本全国のファミリーマートが参加する取り組みで、店舗レジ横に設置した募金箱に集まった募金が環境・社会貢献活動を行う 4 つの団体に寄付されるというものです。「夢の掛け橋募金」は、現在は全国約 7200 店で展開されており、国連 WFP 協会も 2006 年 4 月の立ち上げ当初よりご寄付をいただいています。立ち上げ以来、2008 年 2 月までの間に頂いた店舗募金と㈱ファミリーマートからの寄付は合計 89,394,268 円にも上ります。

また、今年 5 月の第 4 回アフリカ開発会議（TICAD IV）に合わせて横浜市が推進した「アフリカ月間」の際には、横浜市内の店舗で募金箱に「アフリカのハラペコを救え。」マークをつけ、WFP を通じたアフリカ支援を呼びかけて下さいました。

さらに第 5 回 WFP 生徒作文コンクール（9 月 10 日まで作品募集中。詳しくは、P.4 を参照）においては、協賛企業として、子ども向けウエ

ブサイト「Family Mart エコキッズ」上に作品募集告知のページを作して下さいました。このサイトに集まる、社会的なトピックに関心を持つ子どもたちから多くの力作が寄せられることが期待されます。

5 月にミャンマーをサイクロンが直撃した際は、ファミリーマートの社会・環境推進部の早崎康隆部長が、横浜みなとみらいにある WFP のオフィスを訪問。WFP が行う被災者向け緊急食糧支援のために、100 万円の寄付を贈呈していただきました。早崎部長は、「WFP への支援を通じて、グローバルに事業を行うファミリーマートらしい社会貢献を実践していきたい」と、語って下さいました。



© 株式会社ファミリーマート

アフリカの飢餓撲滅のための 「ウォーク・ザ・ワールド FOR アフリカ ～地球のハラペコを救え。～」実施報告



5月25日(日)、第4回アフリカ開発会議(TICAD IV)に合わせ、元気なアフリカを応援するためのチャリティー・イベント「ウォーク・ザ・ワールド FOR アフリカ～地球のハラペコを救え。～」を横浜みなとみらい地区にて開催しました。当日は、大雨の中、子どもから大人まで2,566人の参加者が集まりました。ゲストに、中田宏横浜市長、バルセロナ五輪金メダリストの岩崎恭子さん、俳優の渡辺大さん、空手家の小林由佳さんをお迎えしたほか、各国大使館や企業各社から大勢の方にご参加いただきました。

一人当たりの参加費は1,000円。このうち800円をご寄付とさせていただきます。会場に設置した募金箱にもたくさんのご寄付をいただき、この1日で合計2,382,892円が集まりました。いただいたご寄付はWFPがアフリカ各国で実施する「学校給食プログラム」に使わせていただきます。これは、栄養価の高い給食を提供することで子どもたちを学校に呼び寄せ、身体の発育を助けると同時に、教育の機会を拡げ、

就学率を上げることが目的とする取り組みです。WFPは、空腹で学校に通うアフリカ45カ国・2,300万人の子どもたちすべてに給食を届けることを目標としています。

本年度、日本開催4度目となる「ウォーク・ザ・ワールド」では、アフリカの飢餓問題について多くの関心と、多額の募金を集めることができました。参加者の皆さん、そしてボランティアとしてイベントのご支援・ご協力を行ってくださった全ての方に厚くお礼申し上げます。



©WFP

第5回 WFP 生徒作文コンクール開催



世界の飢餓問題やWFPの食糧支援について理解を深めてもらい、何ができるかを考えてもらうため、将来を担う小学5・6年生、中学生(1～3年生)の児童を対象とし、第5回WFP生徒作文コンクール「地球のハラペコを救え～もし私が大統領だったら～」を開催します。

現在、8億5千万人を超える人々が、飢えに苦しんでいます。このうち3億5千万人以上が子どもたちです。6秒に1人の子どもが、飢えやそれに関係するため亡くなっています。飢餓問題の解決には、1人ひとりの理解と協力が大切です。飢餓について学び、もしあなたが大統領だったらどのように問題に取り組むのか、考えを教えてください。詳しい情報、募集チラシ、応募用紙は、ホームページ www.wfp.or.jp でご入手いただけます。



©WFP/J Stewart

【作文コンクールの概要】

- 名 称**：第5回WFP生徒作文コンクール
- テ ー マ**：「地球のハラペコを救え。～もし私が大統領だったら～」
- 題 名**：自由
- 募 集 期 間**：2008年6月10日(火)から9月10日(水)まで(締切日必着)
- 応 募 資 格**：小学生部門(小学5・6年生)、中学生部門(1～3年生)
- 発 表**：2008年10月16日(木)世界食糧デーに、WFPホームページで入賞者として入賞作品を発表。
- 宛 先**：〒170-0013 東京都豊島区東池袋1-42-14 28 山京ビル7F ポパル気付WFP生徒作文コンクール事務局
- 審 査**：外務省、文部科学省、農林水産省の各代表、あさのあつこ氏(児童文学作家)、小谷真生子氏(ニュースキャスター)など10名の審査委員が厳正に選考。
- 主 催**：WFP 国連世界食糧計画日本事務所、認定NPO法人国連WFP協会
- 後 援**：外務省、文部科学省、農林水産省、全国都道府県教育委員会連合会、全国連合小学校長会、全日本中学校長会、NHK、朝日新聞社、神奈川新聞社、日本教育新聞社、毎日新聞社、読売新聞社
- 協 賛**：アルフレッサホールディングス株式会社、アロカ株式会社、株式会社NRE大増、株式会社オウケイウェイヴ、株式会社クオカプランニング、株式会社真誠、株式会社大冷、タカナシ乳業株式会社、トヨタ自動車株式会社、日清オイログループ株式会社、ニッシン・トーア株式会社、日東富士製粉株式会社、JAL日本航空、ハウス食品株式会社、株式会社ファミリーマート、ベネトンジャパン株式会社、株式会社ロッテ(50音順)
- 注 意 事 項**：応募は専用の応募用紙に必要事項を明記のうえ、ご応募ください。応募用紙は、www.wfp.or.jp よりダウンロードできます。応募は、1人1点、未発表の作品に限ります。入賞作品の一切の権利は主催者に帰属するものとし、応募作品は理由を問わず返却しません。

【応募に関するお問い合わせ先】

WFP生徒作文コンクール事務局 Tel. 03-3984-4900
(10:00～12:00/13:00～18:00 土日祝祭日及び8月15日を除く)

ご入金／ご寄付のお願い

WFPは食糧支援を通じて「未来」を届けています。2007年、WFPは世界80ヶ国で8,610万人に330万トンの食糧を届けました。WFPの食糧支援活動にぜひご協力ください。

●会員となって国連WFP協会の活動を支援してください。

一般会員(個人として活動を支援)…年額一口5千円
学生会員(学生として活動を支援)…年額一口2千円
団体会員(企業や団体などで活動を支援)…年額一口5万円

●ご寄付をお願いします。

世界中で展開されているWFPの食糧支援活動を一層充実させるため、日本の皆様にご寄付をお願いしています。お預かりしたご寄付はWFPローマ本部に送金されます。

*会費または寄付の別を明記の上、下記ゆうちょ銀行口にお振込みください。

口座番号＝00290-8-37418

加入者名＝国連WFP協会

WFP 国連世界食糧計画日本事務所

〒220-0012 横浜みなとみらい1-1-1 パシフィコ横浜6階
www.wfp.or.jp

国連WFP協会

〒220-0012 横浜みなとみらい1-1-1 パシフィコ横浜6階
www.wfp.or.jp
TEL . 045-221-2515 FAX . 045-221-2534